

事業報告書

団 体 名	越河歴史探訪会
代表者役職・氏名	世話係1 八島 喜一
事 業 名	越河歴史探訪会；ことしも“越河”をたずねてみませんか？
実施した事業の内容 ・ 活動内容 ・ 実施日時 ・ 場所 ・ 参加人数 等	<p>1回目 5月8日 東山道と奥州街道を訪ねる旅(その4) 参加者19人で越河駅前を発ち太斎館・明堂館・馬牛館・鹿子沼・亀田古墳群・飯詰館等を遠望し、田中環濠遺跡を踏査し、銚子ヶ盛古墳を経て大畑遺跡に到達して探訪旅を終えた(参加予定者は30人)。</p> <p>2回目 6月26日 越河番所跡から西在までを温める旅 参加者26人で地元の地である大仏の薬師様とその近傍の閑道と番所跡と目される地・旧宅の正門・通称だんぶつまの地・山頭の間道・乳神様を巡った後、座学を通してよりいっそう知識を深めた(参加予定人数は30人)。</p> <p>3回目 10月23日 伊達氏ゆかりの地巡りの旅(その4) 参加者22人で、藤原文化の息吹を感じさせる高蔵寺、越河御前の父伊達氏14代植宗が隠居した丸山城、政宗の叔父である石川昭光が初代城主を務めた角田城跡を巡り、伊達氏の往時の動きを垣間見た(参加予定人数は30人)。</p>
事業の成果や効果	“越河”になんらかの縁のある史実を、地区民自らがたず(訪・温・尋)ねることにより、地元に対する理解をより深くしかつ愛着をより一層抱き、過疎化現象を少しでも遅延させ得ることに寄与しているかも知れない、と再認識できた。
今後における事業展開	<p>今後、次の観点を携えてたずねる所(別紙)を計画したうえで、歴史探訪の旅を実践する予定。</p> <p>① 越河地区に点在する歴史的価値のある箇所、例えば神社仏閣及び古代の遺跡である馬場台遺跡などを探訪する旅</p> <p>② 越河地区から白石東端地区にかけての東山道(奥羽街道)や藤原氏が設けた“笠六角仏道”を探索する旅</p> <p>③ 白石市・仙南地区及び福島市・伊達市・伊達郡に点在する伊達氏ゆかりの地を巡る旅</p>